令和６年度用「新編 新しい国語」

指導事項との関連表（３年）

領域・事項	内容	学年・巻	３年上																									３年下																				
		※指導事項及び言語活動例との関連は○印 （うち重点指導事項は◎印）	あなたのこと、教えて	音読を聞き合おう すいせんのラッパ	かん字を使おう１	図書館へ行こう	国語じてんの使い方	メモを取りながら話を聞こう	自然のかくし絵 読んで考えたことをつたえ合おう	漢字を使おう２	全体と中心	「わたし」の説明文を書こう	漢字の表す意味	ワニのおじいさんのたから物 物語をみじかくまとめてしょうかいしよう	漢字を使おう３	人物やものの様子を表す言葉	心が動いたことを詩で表そう	ローマ字①	一給食だより」を読みくらべよう 書き手のくふうを考えよう	三年生の本だな	紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる 詩を読もう	案内の手紙を書こう	慣用句を使おう	グループの合い言葉を決めよう	漢字を使おう４	主語とじゅつ語、つながってる？	サーカスのライオン 中心人物について考えたことをまとめよう	漢字を使おう５	きょうみを持ったことをしょうかいしよう せっちやくざいの今と昔	分ける	道具のひみつをつたえよう	こそあど言葉	話したいな、すきな時間	漢字の読み方	ローマ字②	想ぞうしたことをつたえ合おう モチモチの木	漢字を使おう６	人物の気持ちを表す言葉	いろいろなつたえ方	本から発見したことをつたえ合おう	漢字を使おう７	俳句に親しもう	カミツキガメは悪者か 生き物についての考えを深めよう	漢字を使おう８	考えと理由	クラスの思い出作りのために	道具のうつりかわりを説明しよう	漢字を使おう９	くわしく表す言葉	ゆうすげ村の小さな旅館 物語のしかけのおもしろさをつたえ合おう	漢字を使おう１０	漢字の組み立てと意味	わたしのベストブック
知識及び技能	⑴言葉の特徴や使い方に関する事項	ア　言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	○					○								○																					◎												
		イ　相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。																					○																						○				
		ウ　漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第３学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。																◎														◎																	
		エ　第３学年及び第４学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。			◎					◎			◎		◎									◎			◎					◎		◎			◎			◎				◎			◎		
		オ　様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。														◎										○				○			○		◎												○			○
		カ　主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。							○			○		○											◎				◎																	◎			
		キ　丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。																			○																												
		ク　文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。		○																○																														
	⑵情報の扱い方に関する事項	ア　考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。							○		◎	○							○									◎			○										○		◎	○							
		イ比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。				◎	○																						◎	○																				
	⑶我が国の言語文化に関する事項	ア　易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。																																					◎										
		イ　長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。																				◎																											
		ウ　漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。																																													◎	
		エ　書写に関する次の事項を理解し使うこと。																																														
		オ　幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。				◎														◎																		○												
思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと ⑴指導事項	ア　目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。																												○																			
		イ　相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。																												◎																○				
		ウ　話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。																																												◎				
		エ　必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。						◎																																										
		オ　目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。	◎																					◎																										
	⑵言語活動例	ア　説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。																																												○				
		イ　質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。						○																																										
		ウ　互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。																						○																										
	B　書くこと ⑴指導事項	ア　相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。										○					◎						○						○	◎							○												○
		イ　書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。									○	◎										○							○															○					
		ウ　自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。																																									○	◎					
		エ　間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。			○					○					○	○	○					◎			○	○		○					○	○			○			○				○			○		
		オ　書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。																																																◎
	⑵言語活動例	ア　調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。										○																	○															○					
		イ　行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。																			○																													
		ウ　詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。															○																																	
	C　読むこと ⑴指導事項	ア　段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。							◎										◎																						○								
		イ　登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。		◎																						◎							◎																	
		ウ　目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。																											◎																					
		エ　登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。												◎																																				
		オ　文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。																	○		◎																		○	◎							◎			
		カ　文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。							○																			○										◎									○			
	⑵言語活動例	ア　記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。							○										○									○																					
		イ　詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。		○										○							○					○							○														○			
		ウ　学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。																																			○			○									